

從來の労働組合は階級的立場を固持して國民から孤立し、資本家階級は労働組合を争議專業の危険團體視し、全力を盡して労働組合の壓迫破壊を策して勞資双方は尖鋭に對立して勞資間の溝は越へることが出来ないまでに深く廣く掘り下げられてゐた。労働組合法の政府案の議會提出が問題となつた頃、この政府案に對して勞資双方が夫々の異つた立場から猛然と反對したことがあつた。當時の内務大臣安達謙藏氏は勞資双方の意見を徴するため、内相主催の勞資懇談會を開催したが、労働組合は階級的立場から資本家と同席、懇談することに絶對反對し、資本家側は根本的に利害關係が異ると稱してゐる労働組合と意見を交換することの無意義を主張して、遂に安達内相のこの計畫は流産になつた。

勞資懇談會が開かれて健實なる労働組合の本質が次第に社會的に認められて來た。
昨冬、日本労働組合會議は健實な労働組合の産業協力主義に基き齋藤首相に「産業と労働の統制」に關する建議をした。此建議に對する朝野の意見を聞くために、政府要路の大官、政黨の領袖、學者、専門家、資本家、新聞記者、労働組合幹部百數十名を招待して東京會館で懇談會を開催した。數年前時の内相の主催で失敗したこの種の會合が労働組合の主催で果して開催出来るか否か、随分その成果を疑われてゐたのに、事實は豫想に反し、朝野の名士権威者百數十名が參會し、積極的な意見の開陳があり、立場上その表現を曖昧にしたものも一、二あつたが、一般的には健實なる労働組合の産業協力運動は國

た。
一昨年より、資本家に労働組合の健實なる本質を理解させるために勞資懇談會を開催するところが北九州の労働組合の間で問題とされてゐたが、遂に昨年四月、協調會の主催で全國に魁けて、福岡縣教育會館で北九州の代表的資本家と日本労働組合會議九州地方協議會加盟の労働組合代表者並に縣知事、警察部長その他の關係官吏が出席して勞資懇談會が開催され、労働組合の健實なる本質に觸れた資本家は釋然として進んでこの懇談會が繼續的に開かれることを希望し、昨年六月並に本年一月と會合を重ねること三回、回を追つて會合は活氣を持ち有意義になつてゐる。この北九州に於ける勞資懇談會の成功が機機となつて關東關西に屢々有意義な

家産業のために國民的に支持すべきである。極めて有力な賛意が表せられた。
この事實は健實なる労働組合の運動が社會的な信用を獲得しつゝある實證である。數年前まで労働組合と同席懇談することは無意義であるとして内相の主催にさへ應じなかつた資本家團體の代表者さへ出席して、輿論の意見に耳を傾けた。健實なる労働組合の運動と主張とは今や國內の輿論となつて國民的に支持され、展開されようとしてゐる。
大事業を完成するにはどうしても國民的支持と國民的信頼が必要である。健實なる労働組合運動も漸くにしてこの越えたる力と支持を得ようとしてゐる。私共はこの情勢を助長して、産業協力主義の大方針の許に、國家産業に對して